

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

東芝 新照明システム事業

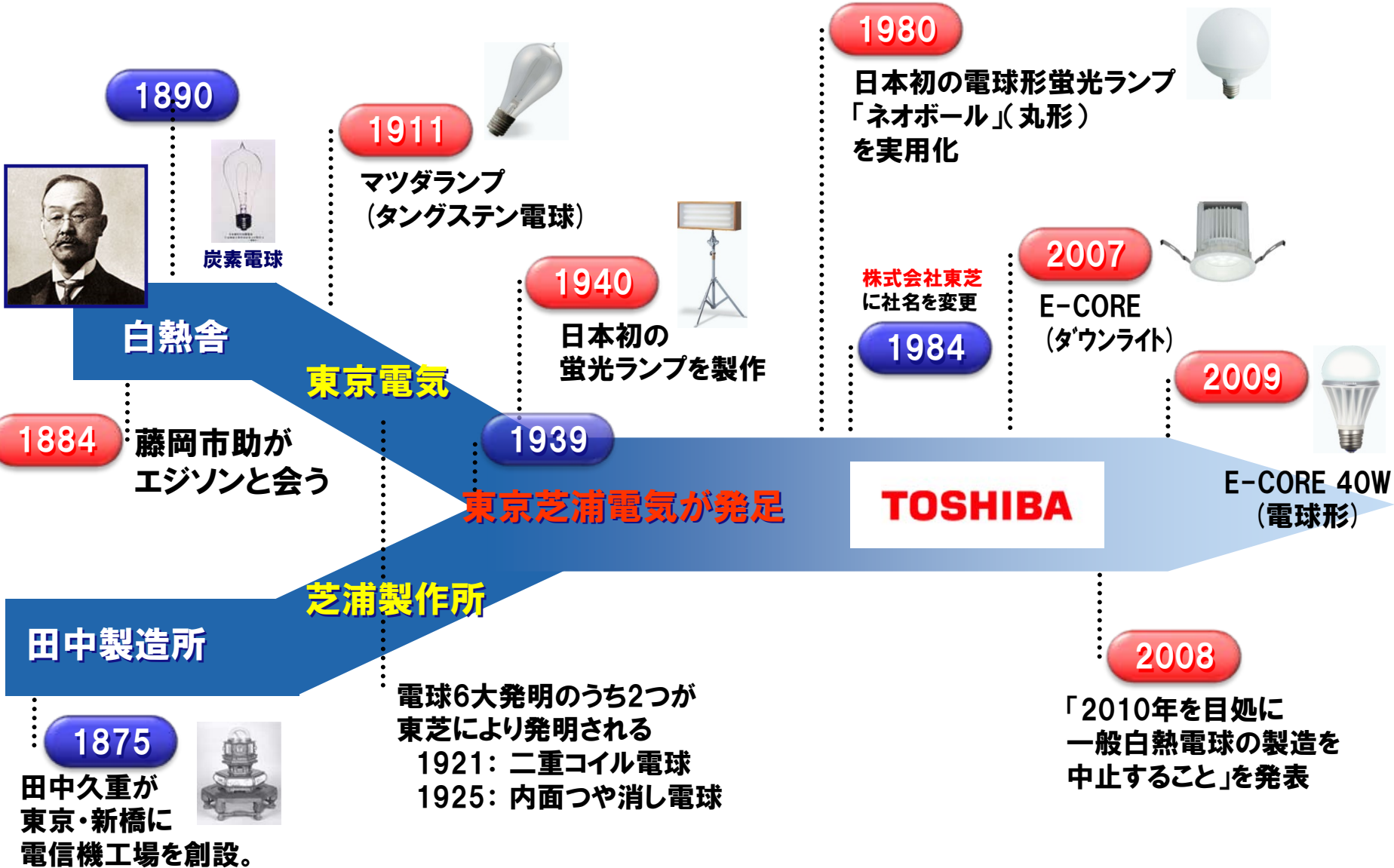
～ LED元年：人と環境に調和した“あかり文化”への貢献 ～

2009年 9月 30日

(株)東芝
代表執行役副社長

室町 正志

120年の東芝照明事業の歩み



当社の事業領域

電子デバイス

社会インフラ

グローバル競争力を持った
トップレベルの複合電機メーカー

新たな
注力事業

デジタル
プロダクツ

環境調和型事業の加速

家庭電器

東芝の強みの相乗効果が見込める事業領域に注力

世界トップレベルの
エネルギー・
環境技術

×

多様なニーズに
対応できる
システム構築力

×

豊かな価値を
創造する
製品・サービス

新照明システム事業を新たな注力事業
の一つとして位置付け事業活動を強化

CO2削減への貢献

エコ・リーディングカンパニーとして世界の低炭素化をリード

エネルギーとプロダクツ2つのアプローチによるCO2の削減

エネルギーアプローチ

原子力発電

太陽光発電

火力発電
高効率化

水力発電

地熱発電

CCS（二酸化炭素回収・貯蔵）

エコプロダクツアプローチ

SCiB(二次電池)

燃料電池

高効率モーター

インバータ

高効率照明（LED照明）

エレベータ

家電 AV

空調機械

新照明システム事業 目標 売上高:3,500億円(@2015年度)

● **新照明ビジネスに関わる幅広い事業範囲及びグループの総合力**

・ デバイス・素材・光源開発技術、多様なアプリケーション、グローバルインフラ(拠点・人財)

● **省エネ No. 1: 業界最高レベルの総合効率実現:93lm/W**



● **ラインナップ拡充**

・ 様々な照明シーンに合わせた商品ラインナップの提供



● **グローバル事業展開の推進**

・ 海外での事業規模拡大に向け、現地でのマーケティングを強化

● **資源投入による事業の拡大加速**

・ 2015年度までに累計 約1,000億円の経営資源を投入

新照明システム事業への東芝グループの取り組み

東芝グループの総合力を発揮

新照明システム事業

一般照明事業

一般照明器具およびランプ

産業用照明事業

バックライト、車載照明

材料・部品事業

LED材料/LED部品

- 東芝グループの技術力（研究開発センター・生産技術センター）
- グローバルインフラ（営業拠点・人財）

新照明システム 商品ラインナップ拡充

2007年

2008年

2009年～

景観照明から商業施設へ⇒そして一般住居へ

〔導入事例〕



用途の広がり

コンポー
ネッツ

屋外
照明

特殊
照明

〔商品ラインナップ〕



高効率
93lm/W

調光
0%～

高出力
15000lm

機能の広がり

従来照明のReplaceに加えて「LEDならではの新しい光の価値創出」

グローバルに事業を拡大

海外での事業規模拡大に向け、現地マーケティング活動を強化

● グローバル事業展開の推進

- 欧州(フランス、イギリス、ドイツ)および米国に活動拠点を設置し、欧州全域、北米でのマーケティング活動を展開中
- 中国、インド、ロシア、ブラジル、中東等への拠点拡大を検討

海外売上比率30%以上(@2015年)を目指す

世界でプロモーションを推進



ミラノサローネ:ブランド'展示会(@イタリア 2009-4-22~27)



ライトフェアインターナショナル2009(@ニューヨーク 2009-5-5~7)

TOSHIBA
Leading Innovation >>>



あかりを変える。未来が変わる。

1890年、日本初の電球は東芝がつくりました。それからおよそ120年。東芝がこれからのあかりとして開発したのが、家庭用の照明器具でそのまま使える* LED電球です。新発売の「E-CORE 一般電球形4.1W」と「同6.9W」では、電球40W形**/60W形***相当の明るさを、消費電力約1/8**で達成。寿命も約40倍***の40,000時間を実現しました。秋にはさらなる高出力タイプや調光機能タイプの発売も予定しています。東芝はあかりの歴史を築いてきた企業の使命として、LED電球の開発・普及に取り組んでいきます。あかりを変えれば、未来が変わる。電球を変えるあなたの手で、地球の未来を変えませんか。

*調光機能のついた器具が使用できない場合があります。 **当社がコロンビアW100V24Wの比較。当社ダウンライト器具ID-70220Sに相当した場合、ほぼ同等の器具光量を得られます。 **当社がコロンビアW100V34W55sの比較。当社ダウンライト器具ID-7011(W)に相当した場合、ほぼ同等の器具光量を得られます。 **当社がコロンビアW100V26Wの比較および当社がコロンビアW100V34W55sの比較。

LEDは東芝

認知度向上・事業領域拡大に向け、
海外出展・国内広告(TV-CF強化等)
を積極推進中

人と環境に調和した“あかり文化”へ貢献します

人・社会・暮らし

Value Creation

新しい光の価値の創出

デバイス、素材、光源から器具、照明空間まで

社会テーマ

Solution

地球環境、エネルギー、UD、安心・安全

ハード

光の先進技術

総合力

東芝グループの総合力

ソフト

光の先進技術

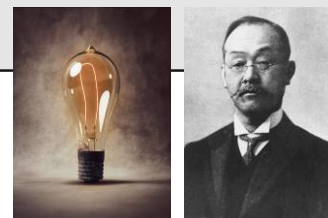
創業時より照明に携わってきた歴史、経験、情熱、探究心

※UD: Universal Design

「できるだけ多くの人々が利用可能であるように製品、建物、空間をデザインすること」

1890年に白熱灯の生産を開始して以来、東芝は、豊かで快適な暮らしの実現をめざし、あくなき探求心と熱い情熱をもって照明文化の発展に寄与してきました。百余年の月日を経て、先端の技術と不断のイノベーションにより人と環境に調和したあかり文化の創造に寄与していきます。

—東芝の新照明—



LED元年宣言

いよいよ世の中のであかりの主役がLEDになる時代が始まります。

東芝は今年、家庭からオフィス、屋内から屋外まで幅広いLED照明のラインナップを取り揃えました。

東芝は今年を「LED元年」と位置づけ、さらなる技術の革新に努めより優れたLED製品の提供に努めてまいります。

TOSHIBA

Leading Innovation >>>